

あぶらっ・ねんゴロ

この場所は 50 年間、油津の人たちに豊かな眠りを提供してきた場所です。
この歴史から私たちは「**ねんゴロでらす**」を併設するオフィスを計画しました。働くスタッフのリフレッシュを兼ねた**ゴロ寝スペース**です。まちの人たちも気軽に立ち寄れて、親しい付き合いができるようになる**ねんゴロ**（ 憩ろ ）にはそんな想いを込めています。

ねんゴロがもたらす効果 コンパクトとネットワーク

商店街の中に休憩の拠点をつくります。商店街内で休むことができると商店街への滞在時間を長くでき、さらなる各店舗の活用につながります。

PC 長時間作業による負荷の軽減

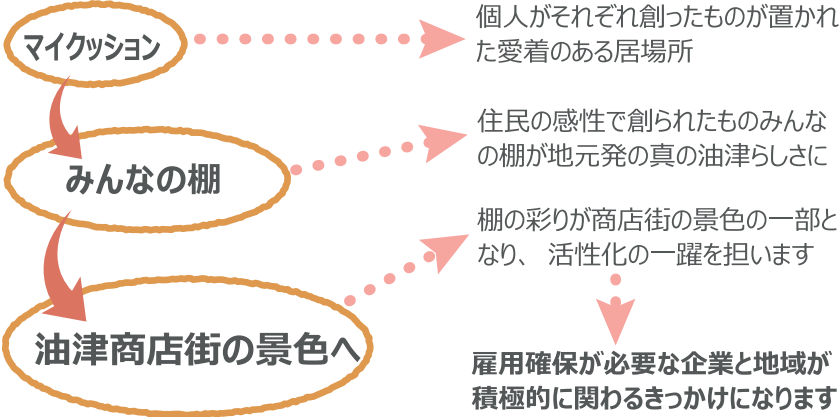
IT 企業の SE 共通の悩みである腰痛。**ねんゴロ**により回復を図る、あるいは**ねんゴロ**しながら仕事することで改善します。周辺企業でも活用されれば油津に集う企業の情報交換の場にも。

場の記憶継承による地元愛

地元愛を感じる要素のひとつである場の記憶。今回の改修にあたり、この地に 50 年続いたふとん店の記憶を**ねんごろ**として継承していきます。

企業と地域住民、 商店街をつなぐマイクッション

参加型ワークショップにより**マイクッション**を制作。出来上がったマイクッションを棚に飾る（マイクッションが利用パス）ことで、彩り豊かな**みんなの棚**になります。このみんなの棚のある風景が油津商店街の景色の一部となり、地域住民にとっての商店街への愛着へとつながります。企業と地域住民、商店街がつながるためのこの場所ならではの仕掛けです。



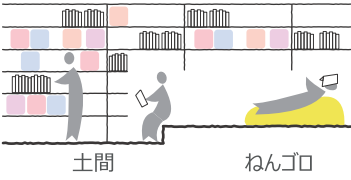
地域のコミュニティを誘発する運営

同じことに興味をもつ人が集まる日

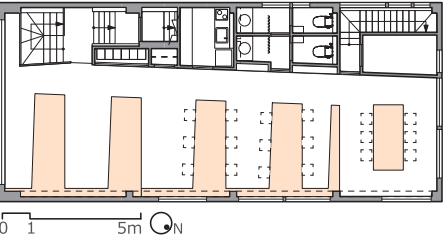
特定目的の人が集まる日を設け、地域のなかに潜在しているコミュニティを誘発します。たとえば囲碁 day・将棋 day のような共通の趣味のコミュニティや、子育て day のような支援ネットワークなどがあります。

みんなの棚を活用したコミュニティ

みんなの棚はクッションの収納だけでなく、本棚として利用者に共有され、ねんゴロしたり土間に腰掛けながら活用されます。



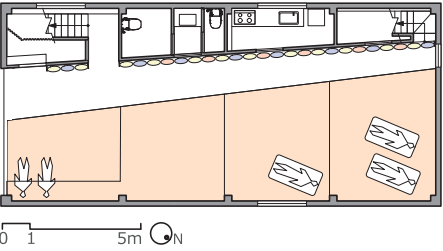
2 階



建物の特徴①

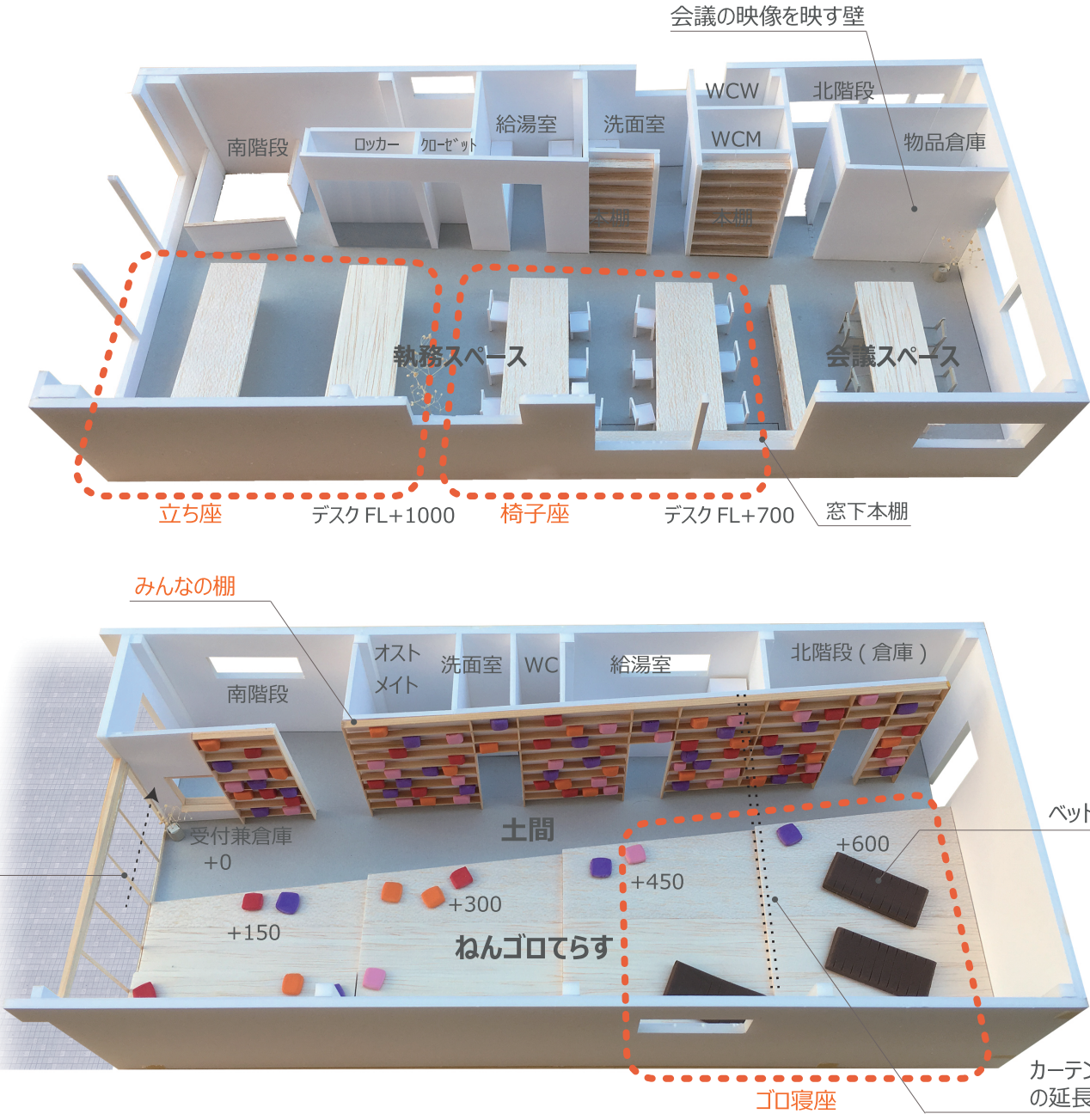
自由な作業姿勢で新しい働き方
デスクの高さや柔らかいごろ寝床で、「座る」はもちろん「立つ」さらには「ねんゴロ」作業環境をつくり、長時間 PC 作業によるストレスを軽減します。

1 階



建物の特徴④

商店街と一体的な空間
商店街からの入口は**フルオープン**の引戸とするとともに、奥へとつながる**土間**が商店街とねんゴロでらすの一体感を高めます。



建物の特徴②

適材に分散した収納で機能的に
出社の動線にロッカーやクロークを配置し、会議スペース脇に物品倉庫、本も廊下に面した中央本棚と窓下本棚を用途に分けて計画します。

建物の特徴③

オフィスの拡張が簡単な 2 つの階段
南階段で将来 3 階に拡張するときも執務室を通らずにアクセス可能。北階段は日常的にねんゴロでらすに下りていくのに便利です。

建物の特徴⑤

階段状のねんゴロでらす
15cm 刻みの階段状のテラス。ゴロ寝や仕事はもちろん、**土間との段差を生かして腰掛け**にふらっと利用も出来ます。

建物の特徴⑥

ひろがりある空間の確保
西側に水回りや階段をコンパクトにまとめ、イベントにも活用できる空間を確保。

カーテンで仕切れば執務スペースの延長としての利用もできます